

平成30年産びわ、おうとう、うめの結果樹面積、 収穫量及び出荷量

びわの収穫量は前年産に比べ23%減少、
おうとうは同5%減少、うめは同29%増加

【調査結果の概要】

1 びわ

結果樹面積^(注)は1,170haで、前年産に比べ70ha(6%)減少した。

収穫量は2,790t、出荷量は2,300tで、前年産に比べそれぞれ840t(23%)、650t(22%)減少した。

2 おうとう

結果樹面積は4,350haで、前年産並みとなった。

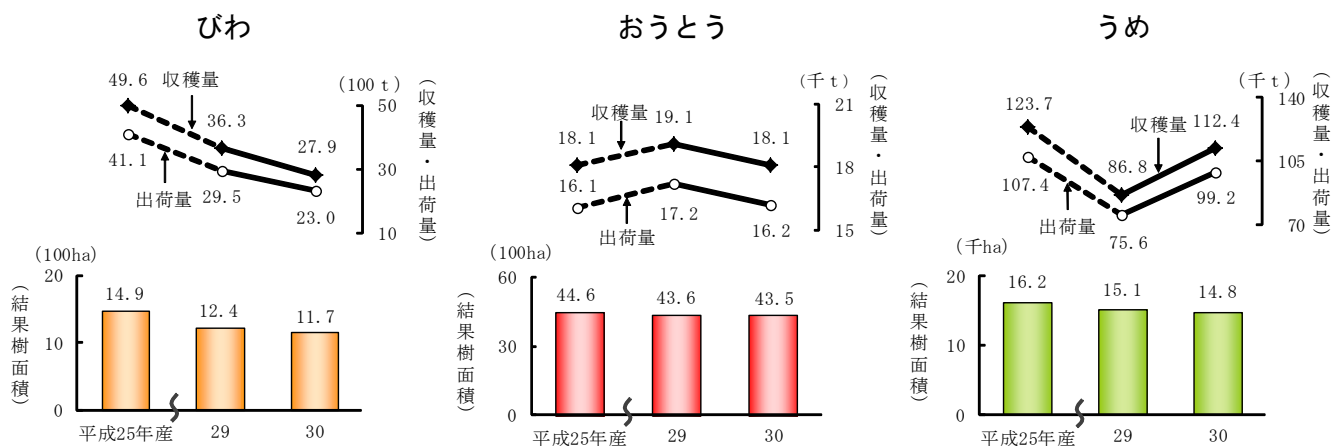
収穫量は1万8,100t、出荷量は1万6,200tで、前年産に比べそれぞれ1,000t(5%)、1,000t(6%)減少した。

3 うめ

結果樹面積は1万4,800haで、前年産に比べ300ha(2%)減少した。

収穫量は11万2,400t、出荷量は9万9,200tで、前年産に比べそれぞれ2万5,600t(29%)、2万3,600t(31%)増加した。

図1 びわ、おうとう、うめの結果樹面積、収穫量及び出荷量(全国)



注：結果樹面積とは、栽培面積のうち生産者が本年産の果実を収穫するために結実させた面積をいう。

本資料は、農林水産省ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。

【 http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kazyu/index.html#y5 】

◎ 調査結果の主な利活用

- ・ 果実を安定的に供給するための生産努力目標の策定及びその達成に向けた各種対策の推進のための資料
- ・ 農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく果樹共済事業の適正な運営のための資料

◎ 累年データ

1 びわの結果樹面積、10a 当たり収量、収穫量及び出荷量（全国）

区 分	結果樹面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t
平成 21 年産	1,680	396	6,650	5,410
22	1,630	350	5,700	4,680
23	1,600	331	5,300	4,350
24	1,550	209	3,240	2,660
25	1,490	333	4,960	4,110
26	1,450	311	4,510	3,660
27	1,400	255	3,570	2,900
28	1,330	150	2,000	1,620
29	1,240	293	3,630	2,950
30（概数）	1,170	238	2,790	2,300

資料：農林水産省統計部『果樹生産出荷統計』（2及び3の統計表において同じ。）

2 おうとうの結果樹面積、10a 当たり収量、収穫量及び出荷量（全国）

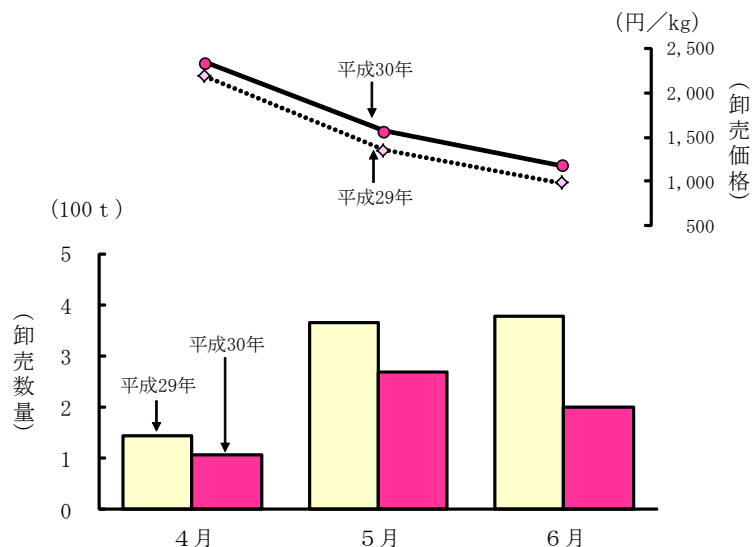
区 分	結果樹面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t
平成 21 年産	4,450	373	16,600	14,700
22	4,470	441	19,700	17,500
23	4,440	459	20,400	18,000
24	4,440	401	17,800	15,900
25	4,460	406	18,100	16,100
26	4,460	426	19,000	17,000
27	4,440	408	18,100	16,300
28	4,420	448	19,800	17,700
29	4,360	438	19,100	17,200
30（概数）	4,350	416	18,100	16,200

3 うめの結果樹面積、10a 当たり収量、収穫量及び出荷量（全国）

区 分	結果樹面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t
平成 21 年産	17,100	674	115,200	99,700
22	16,900	547	92,400	79,700
23	16,600	644	106,900	92,700
24	16,400	549	90,000	78,100
25	16,200	764	123,700	107,400
26	16,200	688	111,400	97,100
27	15,900	616	97,900	85,000
28	15,600	594	92,700	80,800
29	15,100	575	86,800	75,600
30（概数）	14,800	759	112,400	99,200

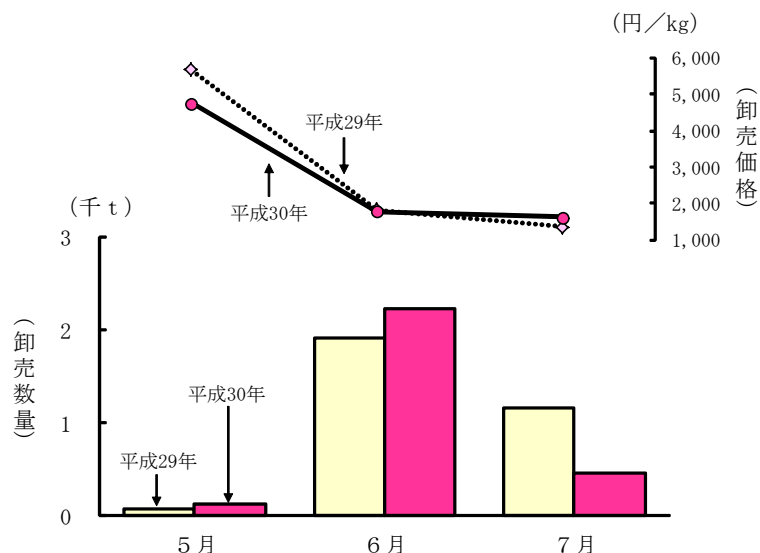
◎ 関連データ

1 びわの卸売数量及び卸売価格の推移（主要卸売市場・国産）

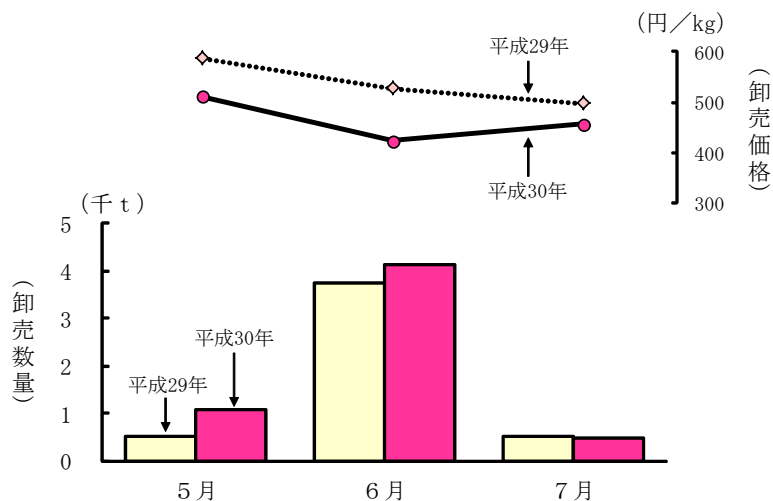


資料：農林水産省統計部「青果物卸売市場調査（日別調査）」（2及び3のグラフにおいて同じ。）
 注：全国の主要都市に所在する主要な中央卸売市場の日別値を加算し算出したものである（2及び3のグラフにおいて同じ。）。

2 おうとうの卸売数量及び卸売価格の推移（主要卸売市場・国産）



3 うめの卸売数量及び卸売価格の推移（主要卸売市場・国産）



【調査結果】

1 びわ

- (1) 結果樹面積は1,170haで、前年産に比べ70ha（6%）減少した。

これは、高齢化による労力不足に伴う廃園があったこと等による。

- (2) 10a当たり収量は238kgで、前年産に比べ55kg（19%）下回った。

これは、1月から2月の低温の影響により着果数が少なくなったこと及び3月から4月の少雨の影響により肥大が抑制されたこと等による。

- (3) 収穫量は2,790t、出荷量は2,300tで、前年産に比べそれぞれ840t（23%）、650t（22%）減少した。

- (4) 都道府県別の収穫量割合は、長崎県が31%、千葉県が16%、鹿児島県が9%、香川県が8%となっており、この4県で全国の約6割を占めている。

図2 びわの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移（全国）

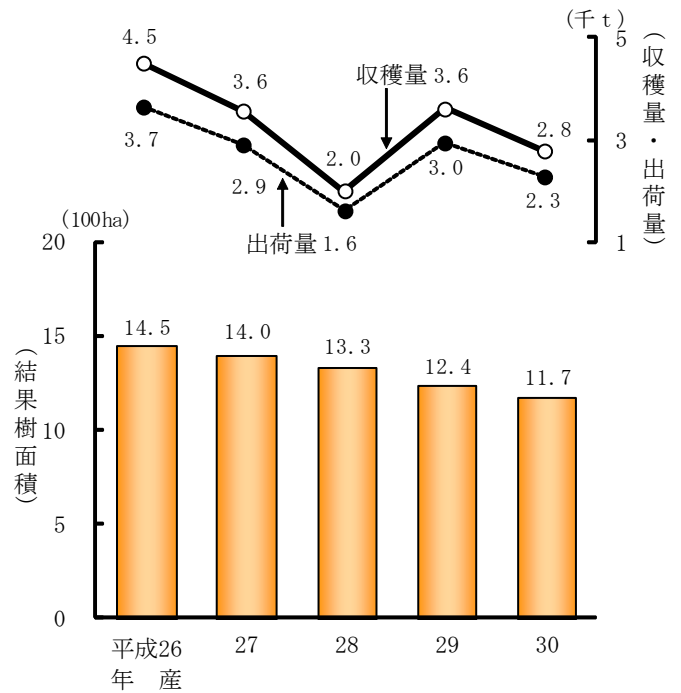


図3 びわの都道府県別収穫量

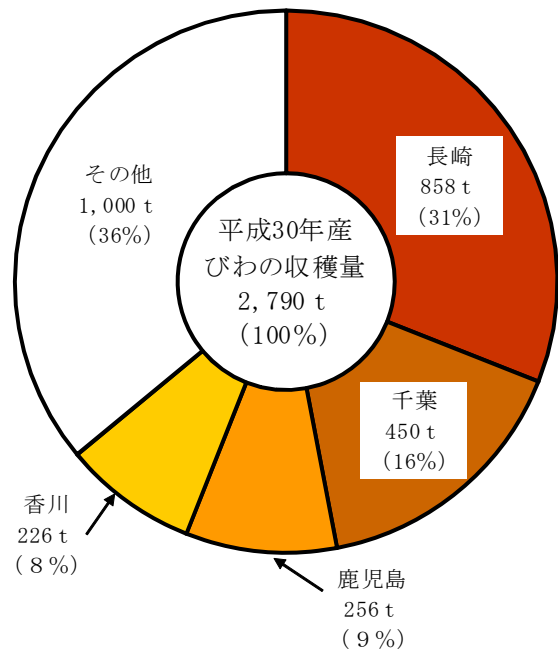


表1 平成30年産びわの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量（全国）

品目	結果樹面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比			
					結果樹面積	10a当たり収	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
びわ	1,170	238	2,790	2,300	94	81	77	78

2 おうとう

- (1) 結果樹面積は4,350haで、前年産並みとなった。
- (2) 10a 当たり収量は416kgで、前年産に比べ22kg（5%）下回った。
- (3) 収穫量は1万8,100t、出荷量は1万6,200tで、前年産に比べそれぞれ1,000t（5%）、1,000t（6%）減少した。
- (4) 都道府県別の収穫量割合は、山形県が全国の約8割を占めている。

図4 おうとうの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移（全国）

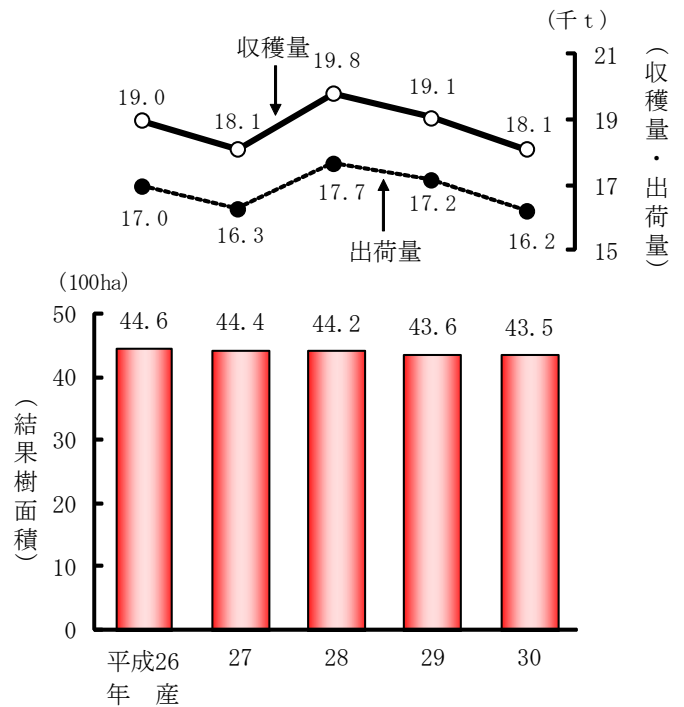


図5 おうとうの都道府県別収穫量

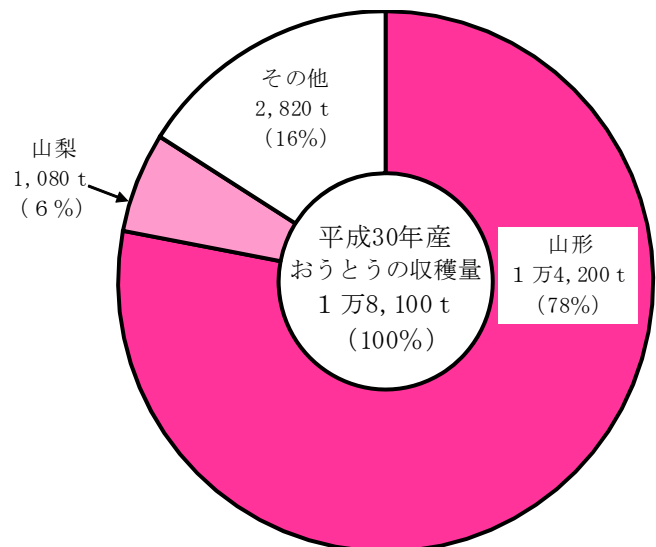


表2 平成30年産おうとうの結果樹面積、10a 当たり収量、収穫量及び出荷量（全国）

品目	結果樹面積	10a 当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比			
					結果樹面積	10a 当たり収	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
おうとう	4,350	416	18,100	16,200	100	95	95	94

3 うめ

(1) 結果樹面積は1万4,800haで、前年産に比べ300ha（2%）減少した。

(2) 10aあたり収量は759kgで、前年産に比べ184kg（32%）上回った。

これは、開花期の天候に恵まれ着果数が増加したこと等による。

(3) 収穫量は11万2,400t、出荷量は9万9,200tで、前年産に比べそれぞれ2万5,600t（29%）、2万3,600t（31%）増加した。

(4) 都道府県別の収穫量割合は、和歌山県が全国の約7割を占めている。

図6 うめの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移（全国）

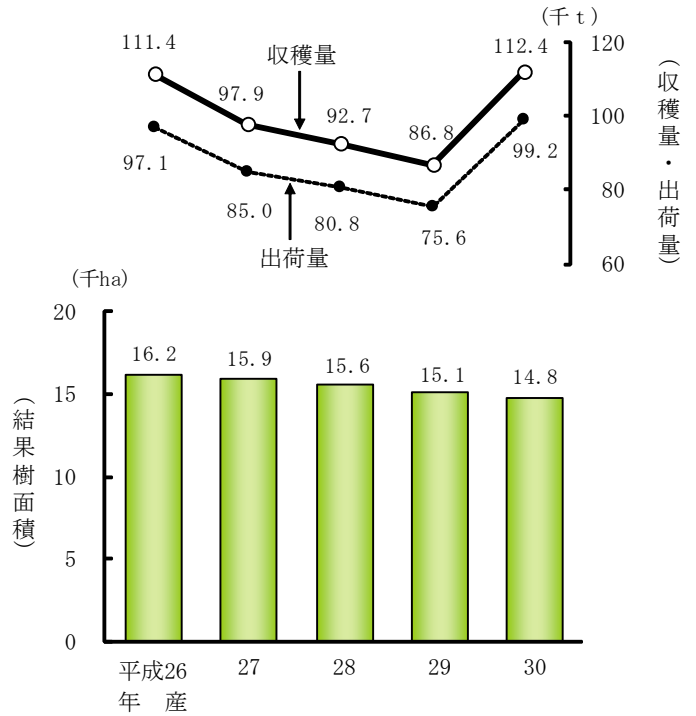


図7 うめの都道府県別収穫量

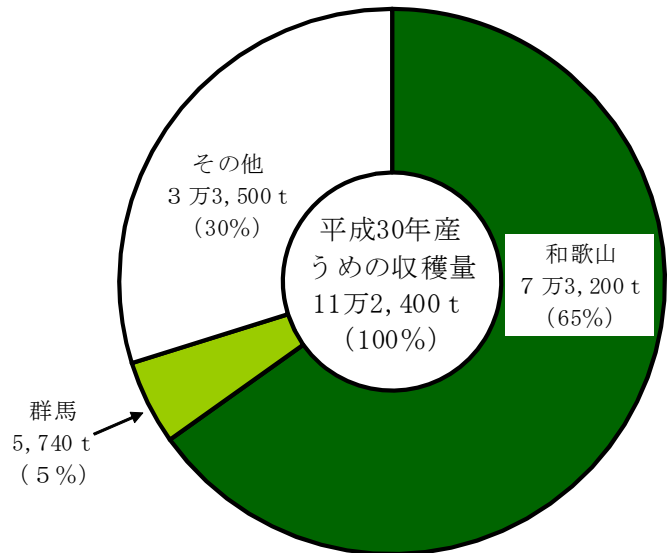


表3 平成30年産うめの結果樹面積、10aあたり収量、収穫量及び出荷量（全国）

品目	結果樹面積	10aあたり収	収穫量	出荷量	対前年産比			
					結果樹面積	10aあたり収	収穫量	出荷量
うめ	ha	kg	t	t	%	%	%	%
	14,800	759	112,400	99,200	98	132	129	131

【統計表】

1 平成30年産びわの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

全 都道府県	結果樹面積	10a当たり 収量	収穫量	出荷量	対前年産比			
					結果樹 面積	10a当たり 収量	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
全 国	1,170	238	2,790	2,300	94	81	77	78
うち 千葉	154	292	450	427	100	84	84	84
兵 庫	40	398	159	137	93	83	77	76
和 歌 山	38	292	111	98	95	60	57	58
香 川	72	314	226	184	97	81	79	79
愛 媛	66	168	111	93	93	53	50	49
高 知	32	244	78	49	94	71	66	63
長 崎	397	216	858	767	92	89	82	83
熊 本	30	230	69	56	91	90	82	97
大 分	50	214	107	69	93	68	63	63
鹿 児 島	125	205	256	186	95	94	90	89

注：調査は、平成28年面積調査結果に基づき、全国の栽培面積のおおむね80%を占めるまでの上位都道府県及び果樹共済事業を実施する都道府県（主産県）を対象に実施しており、全国値については主産県の結果を基に推計した。（以下同じ。）。

2 平成30年産おうとうの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

全 都道府県	結果樹面積	10a当たり 収量	収穫量	出荷量	対前年産比			
					結果樹 面積	10a当たり 収量	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
全 国	4,350	416	18,100	16,200	100	95	95	94
うち 北海道	499	185	923	868	101	60	61	60
秋 田	87	475	413	359	nc	nc	nc	nc
山 形	2,860	495	14,200	12,700	100	98	98	98
山 梨	301	359	1,080	1,030	99	93	92	93

3 平成30年産うめの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

全 都道府県	結果樹面積	10a当たり 収量	収穫量	出荷量	対前年産比			
					結果樹 面積	10a当たり 収量	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
全 国	14,800	759	112,400	99,200	98	132	129	131
うち 宮 城	398	379	1,510	865	96	109	105	107
福 島	389	280	1,090	438	95	126	120	123
茨 城	409	360	1,470	1,120	93	193	179	186
栃 木	272	374	1,020	900	100	112	112	115
群 馬	952	603	5,740	5,250	98	111	110	111
埼 玉	299	483	1,440	1,230	98	149	146	152
千 葉	280	232	650	262	100	121	121	163
神 奈 川	362	500	1,810	1,590	99	139	137	138
福 井	485	307	1,490	1,390	99	141	139	144
山 梨	378	379	1,430	1,260	96	139	134	135
長 野	423	418	1,770	1,340	96	102	98	98
静 岡	232	350	812	473	99	104	104	104
愛 知	338	264	892	357	99	113	113	113
三 重	246	848	2,090	1,480	98	128	126	125
奈 良	297	535	1,590	1,510	96	86	83	83
和 歌 山	4,980	1,470	73,200	70,600	100	137	137	137
広 島	288	242	697	164	99	101	100	100
山 口	224	203	455	220	95	99	94	96
徳 島	132	330	436	320	98	101	99	99
福 岡	253	474	1,200	875	85	122	104	107
大 分	257	476	1,220	852	100	106	105	108
鹿 児 島	221	363	802	545	98	122	120	125

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の作況調査の果樹調査として実施したものであり、果樹の結果樹面積、収穫量、出荷量等の現状とその動向を明らかにし、食料・農業・農村基本計画における果実の生産努力目標の策定及びその達成に向けた各種対策の推進、農業保険法に基づく果樹共済事業の適正な運営等のための資料を整備することを目的としている。

2 調査の対象

(1) 調査の範囲

全ての都道府県を調査対象とする全国調査を6年ごとに実施しており（直近では平成26年産）、その中間年に当たる本年産にあつては、調査対象品目ごとに、平成28年面積調査結果に基づき、全国の栽培面積のおおむね80%を占めるまでの上位都道府県及び調査対象品目に係る果樹共済事業を実施する都道府県を調査の範囲（主産県）としている。

(2) 調査対象者の選定

ア 関係団体調査（全数調査）

主産県において、調査対象品目を取り扱っている全ての農協等の関係団体とした。

イ 標本経営体調査（標本調査）

都道府県ごとの収穫量に占める関係団体の取扱数量の割合が8割に満たない都道府県については、2015年農林業センサスにおいて、調査対象品目を販売目的で栽培し、関係団体以外に出荷した農林業経営体から無作為に抽出をした。

標本の大きさ（標本経営体数）については、全国の目標精度（2～3%）が確保されるよう、調査対象品目の全国収穫量に占める都道府県ごとのシェアを考慮して設定した10a当たり収量に関する目標精度に基づき、必要な標本経営体数を算出した。

(3) 調査対象者数

	関係団体調査			標本経営体調査				
	団体数 ①	有効回収数 ②	有効回収率 ③=②/① %	母集団の大きさ ④	標本の大きさ ⑤	抽出率 ⑥=⑤/④ %	有効回収数 ⑦	有効回収率 ⑧=⑦/⑤ %
びわ	63	58	92.1	1,374	390	28.4	212	54.4
おうとう	90	73	81.1	6,176	304	4.9	172	56.6
うめ	122	102	83.6	10,009	1,917	19.2	1,165	60.8

注：「有効回収数」は、回収があったもののうち、当年産において栽培がなかった標本経営体等を除いた数である。

3 調査事項

(1) 関係団体調査

調査対象品目の結果樹面積及び出荷量

(2) 標本経営体調査

調査対象品目の結果樹面積、出荷量及び自家用、無償の贈与の量

4 調査期日

収穫・出荷終了時

なお、本調査の年産区分の主たる収穫期間は、次のとおりである。

品目	主たる収穫期間
びわ	平成30年5月～6月
おうとう	平成30年5月～7月
うめ	平成30年6月

5 調査方法

本調査は、関係団体に対する往復郵送調査又はオンライン調査及び標本経営体に対する往復郵送調査により行った。

6 集計方法

(1) 都道府県値

結果樹面積の集計は、関係団体調査結果を基に行っており、職員又は統計調査員による巡回・見積り及び職員による情報収集により補完している。

収穫量の集計は、関係団体調査及び標本経営体調査結果から得られた10 a 当たり収量に結果樹面積を乗じて算出し、必要に応じて統計調査員による巡回又は職員による情報収集の結果により補完している。

出荷量の集計は、関係団体調査結果から得られた出荷量及び標本経営体調査結果から得られた10 a 当たり出荷量等を基に算出している。

(2) 全国値

本年産調査は主産県調査年に当たることから、全国値は次により推計した。

ア 結果樹面積

$$\text{当年産の全国値の推計値} = \text{結果樹面積の主産県値} + \frac{\text{結果樹面積の主産県値}}{\text{栽培面積の主産県値}} \times (\text{栽培面積の全国値} - \text{栽培面積の主産県値})$$

(注)「栽培面積」は、農林水産省大臣官房統計部が平成30年10月に公表した「平成30年果樹及び茶栽培面積（7月15日現在）」による。

イ 収穫量及び出荷量

$$\text{当年産の全国値の推計値} = \frac{\text{平成26年産の全国値} \times \text{当年産の主産県値}}{\text{平成26年産の主産県値}}$$

(注) 全国調査を行った平成26年産の調査結果による。

7 実績精度

本調査の収穫量に係る調査結果（主産県計）の実績精度（標準誤差率の推定値）は次のとおりである。

区 分	標準誤差率(%)
び わ	2.4
おうとう	2.3
う め	2.0

8 用語の解説

- (1) 結果樹面積とは、栽培面積のうち、生産者が本年産の果実を収穫するために結実させた面積をいう。
- (2) 収穫量とは、収穫したもののうち、生食用又は加工用として流通する基準を満たすものの重量をいう。
- (3) 出荷量とは、収穫量から生産者の自家消費量、生産物を贈与した量等を差し引いた重量をいう。

9 利用上の注意

- (1) 統計数値については、次の方法によって四捨五入しており、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

原 数		6 桁 (10万)	5 桁 (1 万)	4 桁 (1,000)	3 桁以下 (100以下)
四捨五入する桁数（下から）		2 桁		1 桁	四捨五入しない
例	四捨五入する前（原数）	123,456	12,345	1,234	123
	四捨五入した後（統計数値）	123,500	12,300	1,230	123

- (2) 表中に用いた記号は、次のとおりである。

「nc」：計算不能

- (3) この統計表に掲載された数値を他に転載する場合は、「平成30年産びわ、おうとう、うめの結果樹面積、収穫量及び出荷量」（農林水産省）による旨を記載してください。

10 その他

この資料（平成30年11月20日公表）の数値は、概数値である。確定した詳細な数値は、ホームページに掲載（翌年12月予定）するとともに、その後刊行する『平成30年産果樹生産出荷統計』に掲載する。

なお、公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせする。

【ホームページ掲載案内】

- 各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報で御覧いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】

この結果は、分野別分類「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類「果樹」の「作況調査（果樹）」で御覧いただけます。

【 http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kazyu/index.html#y5 】

【関連リンク】

果樹関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞生産局＞園芸作物（野菜・果樹・花き）＞果樹のページ

<http://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/fruits/>

果樹農業振興基本方針：農林水産省＞組織別から探す＞生産局＞園芸作物（野菜・果樹・花き）＞果樹のページ＞果樹施策の概要

<http://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/fruits/pdf/kajyu427.pdf>

お問合せ先

◎本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房統計部
生産流通消費統計課 園芸統計班
電話：（代表）03-3502-8111 内線3680
（直通）03-6744-2044
FAX： 03-5511-8771

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部
統計企画管理官 広報普及班
電話：（代表）03-3502-8111 内線3589
（直通）03-6744-2037
FAX： 03-3501-9644



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<http://www.e-stat.go.jp/>



漁業センサス

平成31年1月1日現在で、魚市場及び冷凍・冷蔵、水産加工場を対象に、2018年漁業センサス流通加工調査を実施します。

調査票が届きましたら、記入の御協力をお願いいたします。また、調査票はオンラインによる回答も可能です。